

橋本病について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
<p>橋本病</p> <p>橋本病 - 慢性 甲状腺炎の別名 → 甲状腺機能 低下症</p> <p>自己免疫疾患の 一種で、自己抗 体が甲状腺細胞 を攻撃するもの である。</p>	<p>◇ 症状</p> <p>診察所見としてはびまん性の甲状腺腫大がみられる。また、病初期には甲状腺機能亢進による症状（体重減少、脈拍数の増加など）を呈するが、その後は甲状腺機能低下に起因する症状が出現する。体重増加、うつ状態、全身の疲れ、脈拍数の低下、高コレステロール血症、便秘、記憶力の低下、不妊、毛髪の脱落などが起こりうる</p> <p>甲状腺腫大が軽度で、甲状腺機能低下のない症例では、特別な治療は行わずに、年に1回程度の診察で経過を観察する。慢性甲状腺炎患者においては甲状腺機能は変動しやすいため、定期的な経過観察が勧められる。また甲状腺機能異常（低下症や亢進症）の症状が出現したときには主治医を受診する必要がある。</p> <p>◇ 治療</p> <p>甲状腺機能低下を伴う症例に対しては、甲状腺ホルモン剤の補充を行う。一般には合成サイロキシン（T4）製剤であるレボチロキシンナトリウム（商品名・チラーゼンS）の内服を行うことが多い。T4製剤の場合、血中半減期が長い（約7日）ため、1日1回の内服で血中の甲状腺ホルモン濃度をコントロールできる。TSHの正常化が投与量の目安となる。</p> <p>（Wikipedia フリー百科事典HPより）</p>	<p>秋田県難病連特定非 営利活動法人 秋田県難病団体連絡 協議会 http://www.akinan.jp/</p>

